

## 名古屋市内におけるクスベニヒラタカスミカメの記録 (2019年)

中村 肇

名古屋自然史談話会

Distribution survey of *Mansoniella cinnamomi* in Nagoya, Aichi, Japan, 2019

Hajime NAKAMURA

Nagoya Natural History Society

Correspondence:

Hajime NAKAMURA E-mail: nakamura@tameike.info

## はじめに

クスベニヒラタカスミカメ *Mansoniella cinnamomi* (図 1) は、クスノキ *Cinnamomum camphora* を加害する中国原産のカメムシである (安永ほか, 2016)。

日本国内における本種の発見は、2015年10月1日に大阪府岸和田市葛城町で白木江都子氏によって採集された雌の1個体が最初で、その後の調査により関西圏で急速に分布を拡大しつつある状況が確認されている (長島ほか, 2016)。

筆者は、2019年に愛知県名古屋市および周辺地域における本種の分布を調査しており (中村, 2020)、本稿では名古屋市内の情報を抜粋して報告する。

## 調査地および調査方法

調査は、2019年 (主に2019年10月) に、公園や緑地、社寺等に植栽されたクスノキを調査し、クスノキの葉に食痕が確認された場合には、スウィーピング等による採集を試み、採集した個体は可能な限り標本として残した。

## 結果

名古屋市内66地点を調査し、24地点 (千種区、西区、中区、昭和区、瑞穂区、熱田区、中川区、緑区、名東区、天白区) で本種の標本が得られた (図 2)。

なお、採集地等の詳細情報は中村 (2020) を参考にされたい。



図 1. クスベニヒラタカスミカメ

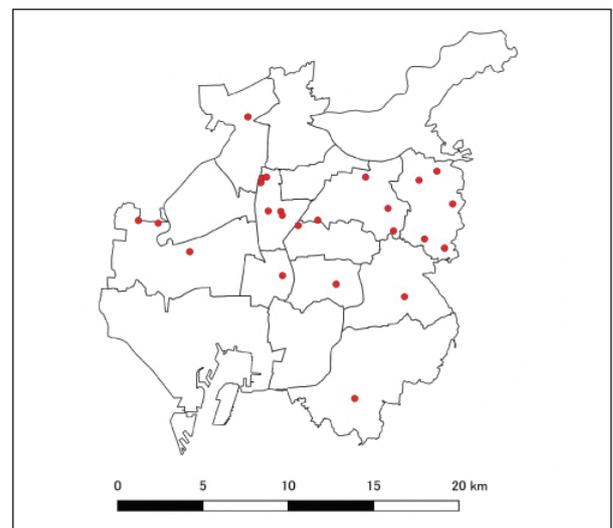


図 2. 名古屋市内における採集記録 (2019年)

### 引用文献

- 長島聖大・岩崎拓・山田量崇. 2016. 2015年に日本へ侵入したクスベニヒラタカスミカメ *Mansoniella cinnamomi* の分布拡大状況. 昆虫と自然 51(14): 26-29.
- 中村肇. 2020. 愛知県名古屋市および周辺地域におけるクスベニヒラタカスミカメの採集記録. いきもの 1: 1-4.
- 安永智秀・穆怡然・長島聖大・山田量崇・高井幹夫. 2016. 最近日本に侵入した外来カスミカメムシ: *Mansoniella cinnamomi*. Rostris (60): 17-20.